



~笑顔あふれる育ちのひろば~
令和5(2023)年5月10日
社会福祉法人見真会 明光保育園

新緑がまぶしく、さわやかな風に吹かれる心地よい季節になりました。

さて、5月8日（月）から3年ぶりに新型コロナウイルスの感染対策が緩和され、保育園でも早く日常の生活に戻ってくことを願っています。

一方で、まだまだ地域内での感染は続いている、重症化のリスクも指摘されていることから、多くの子どもたちが日中に共同して生活する保育園では、感染症への基本的な感染防止対策は、しっかりと継続していくことが求められているところです。

ご家庭でも引き続いてインフルエンザなどの感染症を含めて感染防止対策へのご協力をお願いします。

5月は、児童福祉月間です。「小さくて みんなではぐくみ 育ててく」をスローガンとして、すべての子どもたちが、生まれ育った環境に左右されることなく、健やかに夢を育むことのできる社会づくりに向けた取組が進められています。

園では、子どもたちの安心、安全な生活環境を確保し、誰もが伸び伸びと活動できるように、一人ひとりに愛情を注ぎ、職員との愛着・信頼関係をすべての基礎として、職員の専門性を活かして、一人ひとりの特性や能力を育み、子どもの健やかな成長と活動が豊かに展開されるようチームで計画的に支援していきます。

また、保育の質の確保・向上に向けて、職員自らによる自己評価の導入と評価に基づく改善を進めています。加えて、人材育成を目指した計画的な職員研修の充実と自己研鑽を促す受講料や受験料などの助成を行っています。

新年度がスタートして1か月が経ちました。5月の連休も終わって、新しい生活の疲れも出てくる頃です。子どもたちの健康管理に十分配慮しながら、一人ひとりの思いを大切に生きる力を伸ばすよう、自然の中でたくさん遊んで、この季節を満喫できるよう保育の専門性を活かして支援していきます。保護者や地域の方々のご理解とご協力をよろしくお願いします。

【子育てワンポイント・アドバイス】

「明・楽・元・素」のことばをご存じですか？

「明・楽・元・素」とは「明るいことば・楽しいことば・元気なことば・素直なことば」です。

この言葉を使うと、使った自分自身が変わり、子どもたちも変わってきます。

周りから認められて、たくさん褒められた子どもは、心が安定して素晴らしい笑顔になります。

そんな子どもたちは、他の子どもたちにも優しくなるはずです。

園では、職員が子どもたちに「やってみよう」「できたね」「素敵だね」「頑張ったね」など「明・楽・元・素」をたくさん使って、子どもたちが職員から認められていることを知り、自信を持って何ごとも積極的に取組んだり、ポジティブにとらえられるように働きかけています。

ご家庭でも、たくさん「明・楽・元・素」のことばを探して試してみてください。



ホームページ(HP)を開設しました！

(URL) <https://kenshin-meikou.jp>

登園届、投薬依頼書なども出力できます。
ご意見やご要望もHPにお寄せください。

〈一時的保育を開始しました！〉

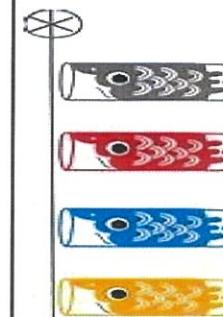
自宅で子育てをしている家庭を支援するため、不規則な就労やケガ・病気で一時的に子育てが困難となったときなどに、月14日以内で保育を行います。地域の子育て家庭にもお知らせください。詳しくは、HPをご覧ください。

【こどもの日(端午の節句)について】

こどもの日は、子どもたちみんなの成長を祝う日です。園では、4月27日（木）こどもの日の会を開催して、こどもの日の由来を知り、互いの成長を喜び合いました。

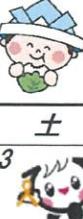
こいのぼりは、「川の流れに逆らって遡上する鯉のようにたくましく育ってほしい」という願いを込めて揚げるようになったという言い伝えもあります。

こどもの日に向けて、各クラスではこいのぼりを作りました。白組・青組・黄組の大きなこいのぼりは、みんながたくましく育つよう玄関を飾っています。



みんなで協力して、大きなこいのぼりを作りました。

5月の予定



日	月	火	水	木	金	土
5月7日 休日保育	8 世界赤十字デー 世界赤十字デー	9	10 愛鳥週間 ~16日 調整会議	11 よもぎ摘み (白・青・黄組)	12 看護の日 毎週金曜日 語学支援	13
14 休日保育	15 國際家族デー 国際家族デー	16 避難訓練	17	18 春の遠足 (白・青・黄組)	19	20
21 小満 休日保育	22 身体測定週間	23 体操のひろば (青・黄組)	24 誕生日会	25 天気の良い日を中心に 園外保育を行います		
28 休日保育	29 交通安全教室 (白・青・黄組)	30 体操のひろば (白・桃組)	31 世界禁煙デー 禁煙週間 ~6月6日	6月1日 気象記念日 電波の日	2 カレー記念日	3
4 虫歯予防デー 歯の衛生週間 ~10日 休日保育	5 個人面談会 希望日時 記入期限	6 芒種 樂器の日 調整会議	7	8 幼児会議	9 乳児会議	10

5月園だより担当

保育士:蒲生、松本 栄養士:酒井 編集:事務長 白木

電話 (082) 824-7801

アドレス info@kenshin-meikou.jp

【ひよこ組 0歳児 7人】担任:森戸、副担任:倉留

在園児3人に新入園児4人が加わり7人となっています。

在園児は、新入園児の方へ集まって覗き込んで顔を見たり一緒に並んで仲良く遊ぼうとしています。新入園児は、新しい環境にも少しずつ慣れてきて、泣き声も減ってきました。離乳食やおやつを食べたり、ミルクをたくさん飲んで大きく成長しています。

天気の良い日は屋上でマットに座って日向ぼっこをしたり、滑り台を昇り降りして楽しんでいます。

表情や囁語から一人ひとりの思いを受け止め、満たしていくことで職員との信頼関係を深めます。生活や遊びの中で五感を高めたり、しっかり食べ眠れるよう基本的生活習慣を整えていきます。

【赤組 1歳児 8人】担任:金井

ひよこ組から進級したり、入園して1か月が過ぎ、新しい部屋や周りの環境にも慣れ、生活のリズムも整ってきました。給食も自ら進んで食べるようになり、その量も増えてきました。周りの子どもたちのことが気になって仕方ありません。何をしているか、何で遊んでいるか、そばに寄り添ったり、持っているおもちゃに手を伸ばしたりと、子ども同士が関わりを深めようとしています。

屋上が大好きで走り回ったり、遊具で遊んだり、じっと虫を見つめたりと思い思に楽しんでいます。

一人ひとりの思いやペースを大切に、ゆったりした環境の中で身体を動かしたり、興味や関心を高めたり、子ども同士の関わりを深めながら、豊かな個性を育んでいく支援を行います。

【桃組 2歳児 13人】担任:松本

4月からクラスは山側の2階から南側の3階に移りました。階段を上ったり下ったりするのは大変ですが、クラスの中には、初めて触れる絵本や玩具にあふれていて、子どもたちは興味津々です。

活動の中で子ども同士が相手の存在を認め合い、互いの気持ちに気付き、折り合いを付けようと工夫始めています。初めのうちは職員が仲立ちをしていましたが、少しずつ「貸して」「代わって」「ありがとう」と自然に言葉で思いを伝えています。

できたことを認め、褒めて自信が付いています。主体的な「やってみよう」を大切に自立の芽生えが伸びるよう支援します。

【黄組 3歳児 18人】担任:今田

みんなが身体も心も大きくなりました。自分のことは自分で気持ちも育っています。子ども同士でも気の合う子と一緒に遊ぶことが多くなるなど、自分の思いや興味が行動に表れています。

一方で「～は嫌だ」「ダメよ」とぶつかることも増えていますが、その思いを相手に素直に伝えることができるようになりました。

当番が始まり、責任を持って楽しみながら取組んでいます。「～するよ」とか、互いに教え合うこともできるようになっています。

クラスの仲間たちと一緒に見たことや聞いたこと、興味関心を共感することで仲間意識を深めたり、あいさつや決まりを守ることの大切さを知り、社会性が身に付くよう丁寧に伝えていきます。

クラスの紹介

【白組 5歳児 18人】担任:細川

4月の進級式では、グループに分かれて、ひよこ組(0歳児)、桃組(2歳児)、赤組(1歳児)の園児の進級や入園を歌や言葉を添えてお祝いしました。年長児になって初めての大役を任せられ、子どもたちが主体となって、何をするか、誰がするなどを話し合って、少し緊張しながらも、やり遂げたことが大きな自信につながりました。

毎朝1日の流れと時間を伝えることで、少しずつ見通しを持った生活ができるようになっています。片付けや給食、専門支援の時間になれば、「みんな、〇時になったよ。～しよう。」と、クラスの仲間と教え合い、支え合いながら生活をすることが増えてきました。

子ども同士が試行錯誤しながら共通の目標の実現に向かっていく過程を大切に見守り、一人ひとりの個性を発揮して互いの良さを認め高め合う関係を築いていくように支援します。

☆専門性を活かしチームで 子どもたちの育ちを支えます☆



①知識能力(知育)支援担当:原田園長代理

黄組は、カレンダーを見て今日は何月何日かと確認し、シールを貼って、数字に親しみ、月日の流れをつかもうとしています。

白・青組は、購入していただいた文字や数字のワークに挑戦しています。一人ひとりで考えたり、周りに聞いたり、教え合ったり、楽しみながら取組んでいます。

さらに、園外活動などの機会をとおして、自然の変化や動植物、社会などへの興味や関心、知識が広がるように取組みます。

②創作・造形支援担当:奥崎乳児主任

各クラスで一人ひとり“こいのぼり”を作りました。白・青・黄組では、みんなで協力して玄関に飾るクラスの大きなこいのぼりを作りました。クレパスや絵具を使ってうろこを描きました。

紙や木材、木の実、石などの素材を使った造形、クレパスや絵具などを使った彩色をとおして、形や色についての感性を高め、作る遊び、やり遂げる達成感を育めるよう専門性を活かし計画的に支援しています。

⑤音楽表現担当:相原リーダー

各クラスで誰もが音楽に親しむことができるよう、季節の歌や好きな曲に合わせて打楽器(タンバリン、カスタネット、鈴など)を鳴らして、リズムを感じ、楽しんでいます。

青組では発表会に向けピアニカにチャレンジしています。音が出ない、指が動かない、みんなと合わないを乗り越えるよう練習を積んでいます。

子どもたちの音やリズム、歌への興味を広げ、主体的にリズムにのって楽器を鳴らしたり、歌を歌いたくなるように支援します。

【青組 4歳児 16人】担任:島崎

進級して周りの子どもたちへの気配りや思いやりの心が大きく育っていると感じています。クラスの仲間だけでなく、年下の子どもたちに遊び方を教えたり、寄り添って一緒に遊んだり、玩具を譲ったり、泣いている子を気遣ったりと思いやりのある行動ができるようになってきています。

チユーリップの観察では、朝晩で花びらが開いたり閉じたりすることに気付いて、みんなで図鑑で調べたりするなど様々な物やできごとに興味を抱き、なぜだろうと気付き、考えたり、調べたりする探求心が深まっています。

遊びでは、一人遊びから、椅子取りゲームやフルーツバスケットなど、集団での遊びを楽しむことが増えています。

これからも子どもたち一人ひとりの成長に寄り添い、内面の思いを理解し、何ごとも個性を発揮してチャレンジできるよう支援します。また、クラスの一員としての仲間意識を持って、みんなと生活を作り出す喜びを感じられるような保育を進めます。

③運動機能支援担当:蒲生主任

各クラスとも色々な運動器具に触れながら身体を動かす楽しさを感じができるようサーキット遊びに取組んでいます。同じ動きを繰り返すことで少しずつ身体の動かし方を知ることができ意欲的に取組んでいます。白・青組は、チャレンジカードを用いて、鉄棒や長縄、跳び箱の上達に取組んでいます。

一人ひとりのペースを大切にしながら、目標や挑戦心を持ち、粘り強く取組む力を育み、達成を喜べるよう支援していきます。

④言語表現支援担当:石崎幼児主任

子どもが本棚から好きな本を見付けてきて、椅子に座って5分から15分間、本を見たり読んだりする読書タイムを作りました。

まだまだ、すぐに「見たよ」「読んだよ」と言って集中が続きませんが、就学に備え一定時間静かに座る習慣づくりを支援します。

引き続き紙芝居や本の読み聞かせをとおして、ストーリーを理解したり、想像力を育んだり、新たな知識を得ることを支援します。

⑦園芸・栽培支援担当:米田園長

春の花々を見て「赤いチユーリップ咲いとるね」、ムスカリを指差して「これなにかね」と聞いたり、「かわいい人参じゃ」と言いながら収穫したり、優しくスナップエンドウを収穫したりする姿から、植物への興味を育み、不思議さを知ったり、植物に愛情を注ぐ心が育ってきていると感じています。

これからも夏の花や野菜づくりをとおして、植物への親しみを育み、収穫や調理を通じて食への興味や関心につなげていきます。

⑧安全教育担当:石崎 幼児主任

新しいクラスになって初の火災を想定して避難訓練をしました。避難経路が違っても、全員焦ることなく安全に訓練できました。

園外保育に備えて、紙芝居をとおして交通安全意識の再確認を行いました。今後も自分の身を守る訓練を計画し実施します。



げんきになる すごしかたは どっち

はやね



はやおき

よふかし



あさねぼう



せいかつリズムを
ととのえよう!

けんこうくまちゃん

保護者の方へ

早起き、朝食、朝ごはん、朝うんちなどの基本的な生活習慣をととのえることは、
幼児の心身の発達の基礎になるため、とても大切です。生活リズムが乱れると、日
中の体調不良につながります。ご家族で見直してみてはいかがでしょうか。

⑥食育・健康支援担当：酒井、佐々木 食育リーダー、栄養士
今田 副主任、黄組担任

食育活動では、みんなで育てたスナップエンドウやニンジン、ホウレンソウを収穫して、給食で提供しました。野菜を育てることと、食材として調理し、食して、身体の栄養になることを伝えました。

食育は、生きていく上の基本となるもので、知育や体育などの基礎となります。食事のマナーを含めて、五感を使って食材と触れ合い、食に興味・関心が持てるような支援を創意工夫しながら計画的に行っていきます。

健康支援では、4月は、心の健康を育むことを目標に、相手への思いやりを持つことについて一緒に考えました。「誰かが困っていたらどうしようか?」「大丈夫って聞く?」など、色々な場面を考えながら、自分を大切にすることと合わせて、相手を思いやることの大切さと、そのやり取りについて学びました。

5月は、新生活に慣れてきたことから、健康の基本となる規則早寝、早起き、朝食を抜かないなどの正しい生活習慣や手洗い、うがいなどの大切さについて丁寧に伝えていきます。

あんせんだより

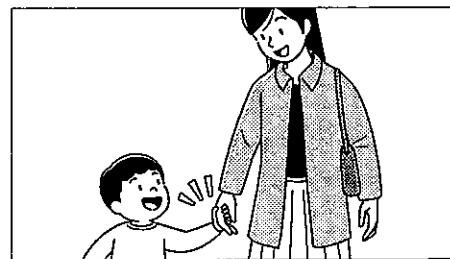
監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石晃子先生



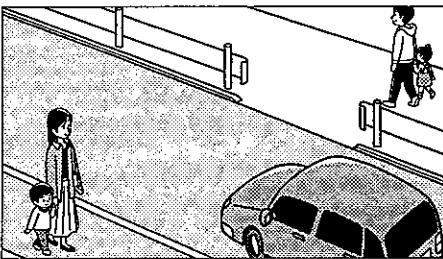
道を歩く時、渡る時の約束 交通安全の基本を守ろう

入園、進級おめでとうございます。これから始まる新しい生活への期待で、子どもたちの胸も弾んでいることでしょう。子どもたちはもちろん、保護者の皆さんも、道の安全な歩き方・渡り方をしっかり身につけて、思わぬ事故やけがに遭わないようにしましょう。

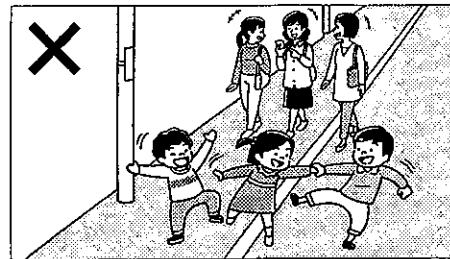
みちを あるく ときの やくそく



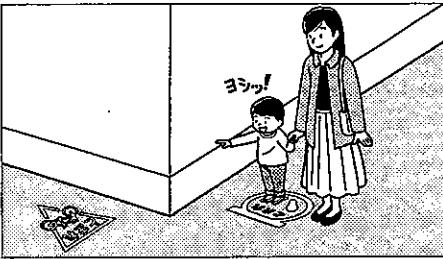
おうちの おとなの ひとと
てを つないで あるく。



はどうか しろい せんの
うちがわを あるく。



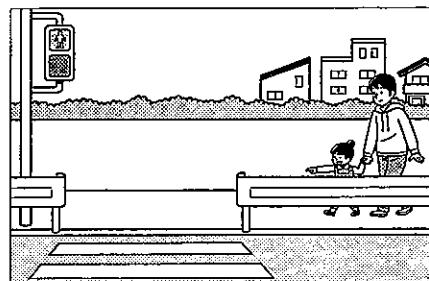
あるく ときは ふざけたり
ひろがったり しない。



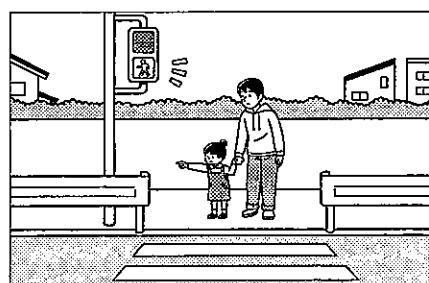
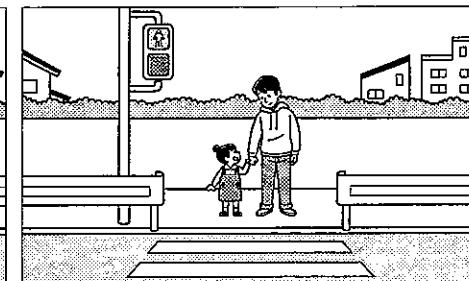
かどの てまえでは いちど
とまって あんぜん かくにん。

保護者の方へ 外出時は必ず保護者が同伴し、離れ離れにならないように手をつなぎましょう。原則的には道の右端、歩道か白線の内側を歩きます。路上で遊んだり、道に広がって歩いたりすると危険ですし、他者の迷惑にもなってしまいます。曲がり角や交差点の手前で一度立ち止まり、安全を確認してから歩き出しましょう。

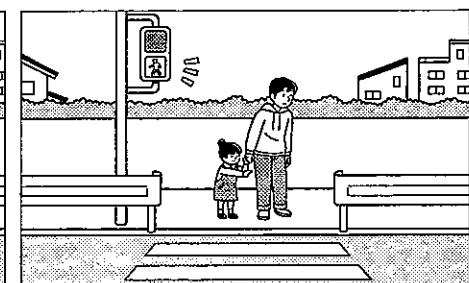
どうろを わたる ときの やくそく



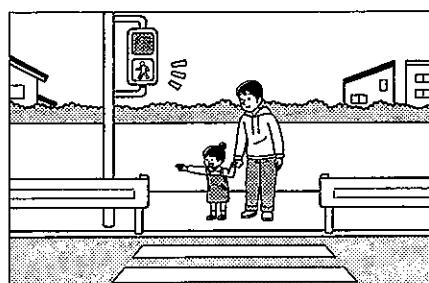
かならず おうだん ほどうの
ある ばしょで わたる。
あか しんごうの ときには
あおに かわるのを まつ。



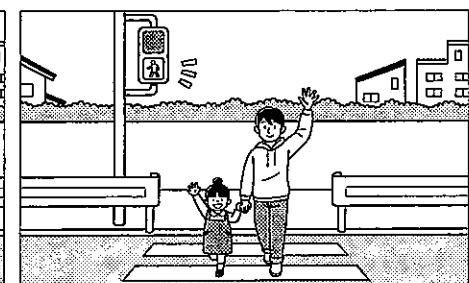
あおに かわっても すぐに
わたらず みぎを かくにん。



その つぎは ひだりを
よく かくにん しよう。



また みぎを かくにん。くるまや
まわりから みえる ように
じてんしゃは はしって こないかな? てを たかく あげて わたる。



保護者の方へ 道路を横断する時は、必ず横断歩道を渡りましょう。信号のある横断歩道では、青に変わってもすぐに渡らず、右・左・右を確認してから渡ります。

5月号では「飛び出しの危険」について取り上げます。